

【受賞報告】第27回日本臨床精神神経薬理学会において、神経精神医学講座 助教 富田哲が優秀プレゼンテーション賞を受賞しました

去る平成29年11月2日から3日に松江市で行われました、第27回日本臨床精神神経薬理学会において、神経精神医学講座 助教 富田哲が「うつ病患者の Temperament and Character Inventory (TCI) における傾向とパロキセチン血中濃度-治療効果の関係について」で優秀プレゼンテーション賞を受賞しました。

今回の発表は、人格検査である TCI の傾向が、抗うつ薬濃度と治療効果の関係性に与える影響を見たものです。その結果、特定的人格傾向を示す患者群では、薬物濃度と治療反応に負の関連が見られることが明らかとなりました。今後は、患者さんのパーソナリティを考慮に入れながらの薬物治療が必要となるかもしれません。

引き続き、患者さんの個別化治療に向けた研究を推進して参ります。

